

2019年12月20日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

テセントリク点滴静注 840mg (外科センター)

薬効： 抗PD-L1 ヒト化モノクローナル抗体

申請理由： 転移性または切除不能な局所進行乳がんに対し、効能・効果追加が追加された。これまで、有効な薬剤が少ないトリプルネガティブ乳がんに対して効果が期待できる薬剤である。

採用中止薬剤： なし (在庫おかず)

テリボン皮下注 28.2 μ g オートインジェクター (整形外科)

薬効： 骨粗鬆症治療剤

申請理由： 現在、テリボン皮下注、週一製剤とフォルテオ毎日自己注がPTH製剤として処方できる。本薬剤はオートインジェクターなので、自己注射できる人が、注射の頻度を下げることができる。

採用中止薬剤： エルシトニン

フェインジェクト静注 500mg (消化器内科)

薬効： 鉄欠乏性貧血治療剤

申請理由： 1回あたりの鉄として500mgの静注が可能であり、既存の薬剤に比べて、より少ない投与回数で必要な量の鉄を投与することができるため

採用中止薬剤： 2% キシロカインE入り

→ 「発売延期で発売され次第購入」

② 抗菌薬等の供給状況

<供給停止>

CAZ セフトアジジム注 (セフトアジジム)

MNZ フラジール注 (アネメトロ)

PIPC/TAZ ピペラシリン/タゾバクタム注 (タゾピペ)

PIPC ピペラシリン注 (ピペラシリン)

<供給再開>

CFPM (セフェピム)

一部再開、ABPC アンピシリン注 (ビクシリン)

③ 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	後発名
クラビット点滴静注 500mg	レボフロキサシン点滴静注バッグ 500mg 「ニプロ」
オキサロール注 2.5 / 5 μ g	マキサカルシトール静注透析用 2.5 / 5 μ G 「テバ」
コアヒビター注射用 50mg	ナファモスタット注射用 50mg 「SW」
サブラッド血液ろ過用補充液 BSG1010mL	サブパック血液ろ過用補充液-B i 1010mL
サブラッド血液ろ過用補充液 BSG2020mL	サブパック血液ろ過用補充液-B i 2020mL
オムニパーク 240 注シリンジ 100mL	イオベリン 240 注シリンジ 100mL
オムニパーク 300 注シリンジ 150mL	イオベリン 300 注シリンジ 150mL
イオパミロン注 370 シリンジ 80mL/100mL	バイステージ注 370 シリンジ 80mL/100mL
イメンドカプセル 80/ 125mg	アプレピタントカプセル 80/ 125mg
ファンガード点滴用 50mg	ミカファンギン N・点滴静注用 50mg 「サワイ」

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします。

④ 使用成績調査

<ヴァンフリタ錠>

1. 調査区分：一般使用成績調査（全例調査）
2. 医薬品名：ヴァンフリタ錠 17.7mg・26.5mg
3. 調査目的：本剤の使用実態下における再発又は難治性の FLT3-ITD 変異陽性の急性骨髄性白血病患者に対する本調査の安全性検討事項の発現状況を把握する。併せて、本調査の安全性検討事項以外の安全性及び有効性に関する情報も収集する。
4. 調査予定期間：発売日から全例調査の承認条件が解除されるまで
調査予定症例 210 例の調査期間：発売日から 2.5 年間
登録期間：発売日から全例調査の承認条件が解除されるまで
(調査予定症例 210 例の登録期間：発売日から 2 年間)
ただし、登録症例数が予定症例数に達する見込みがたった時点で、医薬品医療機器総合機構（以下、PMDA）に調査票の記入を必要としない症例登録のみへの移行の可否を相談する。
5. 調査予定例数：全例
6. 調査責任医師：麥谷 安津子
調査分担医師：井根 省二、市原 弘善、橋村 光晴、仲子 総一郎

<ユルトミリス>

1. 調査区分：特定使用成績調査
2. 医薬品名：ユルトミリス®点滴静注 300mg
3. 調査目的：本調査は、ユルトミリス®点滴静注 300 mg（以下、本剤）の発作性夜間ヘモグロビン尿症（以下、PNH）患者を対象とした使用実態下における安全性及び有効性に関する情報を収集することを目的として実施する。
4. 調査予定期間：本剤発売日 ～ 2024 年 12 月
5. 調査予定例数：本剤が投与された全ての PNH 患者
6. 調査責任医師：麥谷 安津子
調査分担医師：井根 省二、市原 弘善、橋村 光晴、仲子 総一郎

以上